

12月8日(土) 昨年、一昨年に続き3度目の公演を行いました。

当施設は秩父溪谷の山紫水明の地に有り、有名な「満願の湯温泉」が隣接しています。

今回は忘年会のイベントで、秩父を中心に活動している少女ダンスチーム(ミルクプリン)の踊りが2時より行われ、その後、熊谷座の公演を約1時間行いました。



今回Y. Nさんが欠席、またT. Iさんが、都合で司会と写真撮影に回り、30名程の通所者入所者の前で、4人での演技となりました。

まずは南京玉すだれの「基本技」を、皆さんの手拍子をいただきながら、調子よく演ずることが出来ました。



最後の枝垂れ柳では、きらきらモールと大きな扇子を“バシッ”バシッ”と音を立てて開くと、「オー ワー 凄い」「上手い」と拍手喝采を頂きました。

続いて、「人生に涙あり」では、少々(?)のミスもありましたが、まずまずの出来だったかな・・・

3つ目は「キヨシのズンドコ節」、職員の方が、タンバリン、マラカスなどを用意してのリードもあり、皆さん赤い「ボンボン」を手に「キヨシ」の掛け声、手拍子、拍手、で我々も乗せられました。





南京玉すだれ4つ目は「麦畑」と進み、もう座は最高に盛り上がりました。

最後の場面では、写真のようにハートが完了する前から、「アッ、ハートだ かつこいイ～」の大拍手を頂きました！？

次のマジックとオカリナのコーナーの写真は残念ながら撮れませんでした。

マジック、今回は T.I さんのマジックはなく、JKがいつもの赤と黄の紐の入れ替わり変化や、ネクタイを使った首抜け技、そのまま引くと首がしまる状態から上手く抜けたとたん、「オウ～」との声が上がりました。その他、赤い球が消えたり現れたりや、時計板のマジックなどで楽しんで頂きました。

オカリナ、M. Nさん一人での演奏で、「瀬戸の花嫁」、「みかんの花咲く頃」の2曲の演奏では、皆さん口ずさみながら、ポンポンを振っての応援となりました。

「触れ合いタイム」では、皆さんに阿弥陀様や東京タワーを一緒に作って頂くと、利用者さん達にはにこやかな表情で、職員の方の写真撮影に納まっておられ、これは外せないメニューと思いました。

予定の演目が終わった後、現在座員一同で練習中の演目「皿回し」を少し行い(但し半完成です。)、次回までにはお見せできるようにしてきますと約束をしました。右は公演前の控室での練習中写真。



座長の挨拶の後、最後に施設利用者の方々と一緒に写真撮影を行いました。



今回の公演では、皆さん赤い「ポンポン」や「タンバリン」を手にしての手拍子、拍手、掛け声で、我々も乗せられ気持ちよく演じられました。

帰り際大勢の方に「又来て下さい」「良かったよ～」の声には有り難く、また来年4回目の公演を約束し、帰途につきました。

記： 加藤 治朗

写真： 磯田 壯男